大館市政だより
第二十三号
毎月1回発行
発行所秋田県大館市
大館市役所
編集兼発行人
飯坂勇蔵

合併の態度決定を要請

七ヵ村へ八月二十日までに

市では十四ヵ町村（花岡町、扇田町、十二所町、早口町、矢立村、長木村、上川沿村、下川沿村、山瀬村、真中村、二井田村、東館村、西館村、大葛村）の大きな合併構想を昨年七月に樹て、それぞれの町村に働きかけてきました。それから一年。十四ヵ町村との合併を実現するための第一段階として、北秋北部市町村合併研究会を早口町、矢立村、長木村、上川沿村、下川沿村、山瀬村、二井田村、真中村と大館の九ヵ市町村の間で六月二十五日に結成しました。構成は各市町村長、各市町村議会正副議長、各市町村議会議員一名という顔振れです。

七月二十日、市議事堂で北秋北部合併研究会を開き、その席上、佐藤市長が合併構想を発表し、各町村と意見を交換し合いました。

当日、上川沿村本多村長より＝上川沿村では、さきに市に対して「合併に関する要望書」を提出しているが、これは村自体の自主的な立場から作成したものである。＝と、某新聞で論したような不明朗な政治的取引でないことを強調。

また長木村石田村長や真中村越姓村長よりそれぞれ＝上川沿村のように、要望事項をお互いに出し合って進みたい。合併の時期を何時にするか目標を定めるべきだ。＝と発言があり

市議会の市町村合併促進特別委員会田中委員長から大館市と合併するという態度を八月二十日までにはっきりして欲しい。合併についての要望事項もその頃までまとめて頂きたい。

と各町村にお願いし、合併について重大な意見がとりかわされたのでした。

市長もこれから直接各町村に出向いて合併を推し進めることになっており、今後合併問題は急速に展開して行くことになりましょう。

尚、合併の態度を八月二十日までに決めて欲しいという市長の書翰は、早口、矢立、長木、上川沿、下川沿、二井田、真中、山瀬の八ヵ町村へ七月二十七日送りました。

秋田犬の保護育成のため

条例を設けます

七月の定例市議会で「大館市秋田犬保護育成に関する条例」が提案されました。この条例は、市内の秋田犬の保護育成を図ることを目的としています。この目的を達成するための事業としては

①優秀犬の保護管理
②秋田犬の育成管理指導
③秋田犬の宣伝
④その他必要な事業

があげられており、市長の諮問機関として「秋田犬専門委員会」が置かれます。この専門委員会は秋田犬についてのいろ／＼な事を調査審議し、必要な事項は市長に建議します。

又市では専門委員会の意見を聞いた上で、優秀犬を「秋田犬優秀指定犬」として指定します。優秀指定犬に対して市から補助金を交付することがあり、所有者は市の指示に従って育成管理しなければなりません。尚市で行う行事の際に優秀指定犬を出品させて頂く時もあります。

以上が「大館市秋田犬保護育成に関する条例」のあらましです。

市では天然記念物秋田犬の保護に積極的な努力をするとゝもに、同じく天然記念物である「芝谷地湿原植物群」や「声良鶏」などの保存育成にも力をそゝいでおります。

保険課を保健課に

事務分掌を若干變更

昭和二十九年七月定例会が七月二十六日から開かれましたが、提出案件のうち、「大館市課及び室設置条例（案）」が提出されました。そこでその条例で決めている市役所内の課と室の事務分掌をお知らせしましょう

▼総務課
①議会及び一般庶務に関する事項
②儀式及び秘書に関する事項
③条例、規則その他の規程に関する事項
④人事に関する事項
⑤文書に関する事項
⑥予算その他財政に関する事項
⑦市有財産に関する事項
⑧戸籍並びに外国人[illegible]び印鑑に関する事項
⑨自衛隊に関する事項
⑩他の主管に属さない事項

▼税務課
①市税（保険税を除く）の賦課に関する事項
②市税の徴収に関する事項

▼会計課
①収入支出に関する事項
②決算に関する事項
③用度に関する事項

▼保健課
①保険給付に関する事項
②保険税の賦課に関する事項
③保険税の徴収に関する事項
④保健衛生に関する事項

▼厚生課
①社会福祉に関する事項
②公営住宅に関する事項

▼商工課
①商工業に関する事項
②物資の配給に関する事項
③度量衡に関する事項
④観光に関する事項
⑤天然記念物に関する事項

▼農林課
①農業に関する事項
②畜産に関する事項
③林業に関する事項
④農業委員会に関する事項

▼土木課
①都市計画に関する事項
②土木に関する事項
③建築に関する事項
④上下水道に関する事項
⑤失業対策事業に関する事項

▼調査室
①市の[illegible]関する事項
②広報活動に関する事項
③統計調査に関する事項

×　×

以上の通りですが、今までと変った主な点は二つあります。保険課が保健課と改められ従来厚生課で扱っていた、保健衛生事務を保健課が取り扱うことになったこと。

農務課を農林課に改めて、林業の事務を大きく取りあげていること。

この二つが今度改められた大きな点です。

花火大会は十六日に

八月十六日に花火大会が長木川畔で行われます。

商工会議所では第三回花火大会の開催打合せを七月二十三日に市内各業者や関係団体の方々と協議した結果約七十萬円位の経費で十六日に花火大会を行うことになりました。

一市四町十村の合併構想

◆範囲　花岡、扇田、十二所、早口、矢立、長木、上川沿、下川沿、二井田、真中、東館、西館、大葛、山瀬の各町村、面積九一一・一八平方粁。しかしそのうちの約四十五％は国有林地帯であり、民有林その他を除く実際の居住地域は総面積の約三十％程度である。道路交通、通信機関の発達した現在では、この地域の住民が大館を中心として日常生活を営む上に何の不便も感じない範囲である。今まで生活経済圏が同じでありながら、行政区域が幾つかに分れていたゝめに、いろ／＼な不便があった。この不便をなくすために合併を行って強力な自治体を作って住民の便を計ることは重要なことである。

◆人口　構想地域の総人口は約十萬となる。居住区域の人口密度は一平方粁あたり約三百七十人で、全国平均の可住地人口密度が二百六十二人であるのに対して、それを遥かに上廻っている。又、大館市、北秋田郡の総人口十七萬の約六割が、大館北秋田の総面積の約四割にあたる地域に集っていることからみても、一つのまとまった共同体として充分成り立って行くことを示している。

◆統一性　自治体が一つの纏った共同体となる為には産業経済、文化、教育行政等の機能的中心が必要である。構想地域では、生産販売、消費、或いは学校教養娯楽施設の外、各種行政司法官庁等が殆んど大館にあり、人情風俗の同じである歴史的な伝統とゝもに構想地域は大館を中心として有機的に結びついた強固な生活共同体となっている。

◆道路　機能的中心の大館は、地理的にみても構想地域の中央に位している。各町村と大館とはすべて国道県道をもって放射状に連絡されている。中心部からの放射状道路は、自治体がまとまりを持つ為に最も重要な「動脈」である。その放射状道路が全部国道県道であることは、他に比較してまことに恵れた状態でありこの地域の緊密な関係を示している。

◆交通機関　県内の三大バス会社の一つ秋北バス会社が大館にあって、頻繁に各町村を連絡している。又大館を中心に奥羽本線、花輪線、小坂花岡線の各鉄道が走っているし、タクシーの保有台数も殆んど秋田市に匹敵する程である。これ程交通機関に恵れた地域は余りその類がない。

×　×

新市の形態

◆行政単位と生活共同体の一致

社会の進展につれて、人間の日常生活の範囲が次第に拡大されてきた。今日では農家であっても自給自足の生活を守ることは困難である。生産、消費、教育、娯楽等、社会、経済、文化の各方面に亘って外界と密接な関連がある。そして、その生活圏は、日常生活の要求を満すことの出来る中心に向って延長されて行く。[illegible]

◆農村と農村との合併

農村と農村との合併は、消費的な経費の節約によって財政上有利となる程度の好影響をもたらすであろう。しかし、これは行政圏と生活経済圏を一致させるという矛盾を解決してくれないのである。明治以来続いてきた行政区域は、政治経済文化等の発展とともに当然拡大されなければならない。住民にとって最も用事の多い[illegible]

◆都市と農村

「農村が都市に合併しては損をする」と云うのは、資本主義社会が発生して以来しばしば云われてきたことである。しかし、最近の都市は[illegible]

[illegible]ていたからである。

これからの自治体は、都市と農村とがお互いに扶け合わなければならない。[illegible]結びついて、生活や文化、経済の向上を計るべきである。

×　×

以上の点から一市四町十村の合併構想を樹てたのであるが、新しい市が誕生するとどのようになるであろうか。

◆性格　構想地域は、林業、農業、鉱業等の原料生産業が非常に発達している。しかし、これらを利用する加工的高次産業が立ち遅れているといえよう。合併後の大きな政治力と財政力によって未開発資源の開発と企業の振興が行われることとなろう。後背地人口約二十萬を持つ新市は、附近鉱工業、林業、観光、教育、行政等各種の消費の中心として商取引は益々盛[illegible]地の基地として発達することができよう。

教育の面では、農業高校、商業高校を設置して高等学校教育体系を完成し、更に大学設置も計画されている。

×　×

この構想によって新市には広大な農耕地が加わるが、経済の実態からみると所謂「農村都市」とは云えないのである。豊富な農林業を基盤とした工、鉱、商業が新市経済の重要な要素となってくる。将来の行政も、これらの育成に努力するような方向をとるのであり、本質的都市として今後の発展は十分期待されよう。

×　×　×
×　×　×

住民登録の実態調査

～移動の都度に届出を～

市総務課戸籍係では、七月一日より住民登録実態調査を行っています。

この調査は調査員が皆様の御家庭を訪問して、住民票に登録されていても実際に住んでいない方や住んでいてもまだ登録していない方を調査し、登録されていない方には、直ちに登録の届出をして頂くことになっています。調査は八月末日で終り、これによって住民票が完備されることになりましょう。最初の登録は、全国一っせいに調査をして住民票を整えました。（昭和二十七年七月一日）この後の異動――他の市町村から大館市へ転入された場合は転入の届出、市内で住所が変った時は転居の届出――は、十四日以内に市役所へ届出さなければなりません。しかし届出が十分守られていません。そこで市に[illegible]ても住民票に載[illegible]ったり、居住し[illegible]が載っていたりしました。

住民票は選挙や入学、衛生事務その他あらゆる行政面に利用されるのです。住民票がこのように利用され、行政事務が適正でたやすく行われることを目的として住民登録法（昭和二十七年七月一日施行）ができたのです。住民票は七月、八月の二月にわたる実態調査によって完備しますが、これからも移動のあった場合、その都度届出をして下さい。

団体旗大館を通過

八月五、六日の二日

第九回国民体育大会旗が松山市を七月八日に出発して札幌市に向っておりますが次の日程で大館市を通過します。皆様多数お集りの上声援を送って下さい。

大館市通過日程

八月五日　午後二時五十分。片山小学校前で受継ぎ同三時に大町秋田銀行前着（宿泊）

八月六日　午前九時三十分　秋田銀行前出発。同九時五十五分釈迦内山神台前へ（矢立村へ引継ぎ）

国民体育大会旗は前記のように七月八日四国松山市を出発して裏日本を北上。四十五日間にわたって三萬二千五百二十五名にリレーされ、四一二七、六七一粁を走破して、第九回国体の札幌市円山競技場メインポール上に国体の期間中ひるがえるわけです。

伝貧検査

八月十日から

伝貧馬検査を八月十日から十二日まで旧桂城小学校々庭で毎日午前八時から行います。

去る七月二十五日に大館家畜市場（競馬場隣り）で二才駒の市場開設と伝貧検査を行いました。これは二才駒だけでしたが、今後は伝貧検査を行わない馬は市場へかけられないことになっています。市内の馬はすべて八月十日からの伝貧検査を受けて下さい。

乳児の健康診断

昨年七月一日から本年七月末日迄に生れたお子さんの健康検診を次の日程により無料で行います。

八月二日	常盤医院
同　三日	石田病院
同　四日	泉山医院
同　五日	公立病院

時間は何れも午後二時から午後四時までです。該当される方は都合のよい場所で必ず健康検診を受けて下さい。（母子手帳持参の事）

非常電話99番

大館警察署では、非常電話を設けました。番号は「九十九番」。緊急事件が発生したら九十九番へかけて下さい。「泥棒、泥棒」とくりかえされても電話は通じます。

市民の声へのお答え

七月上旬のアンケートについては，その結果の一部を七月の「市政だより」でお知らせしました。今月は市民の皆さまから寄せられました市政への御要望等をのせることにしましよう。紙面の都合で一部より掲載できませんが，今後とも皆さまの御意見は「市政だより」の係までどしどしお寄せ下さい。

サービスをモットーの市吏員

▼この頃、市役所の皆様がバッチをつけて肩を張つてどうも困る。バッチはやめた方がよい。

（お答え）バッチをつけて肩を張つて歩くような職員は居ないつもりですが、今後十分注意します。バッチをつけるのは、むしろ市の職員――云いかえると市民の公僕として恥しくない態度や行動をとり、市民の範となつて欲しいという考えで、この制度をもうけたものであります。（総務課長）

▼各部門の委員視察が数あるように見うけられる。その視察費が相当あると思うが、その点――

（お答え）産業、文化、経済等多角的に各部門において大館市という一つの社会生活のかたまりを、より以上発展させるためには視野を広くするために先進地視察も必要です。これは当局の執行部門に対しても重要なことでもあります。市議会では無駄な視察は一つもしておりません。（総務課長）

▼市役所の窓口に不親切な人がある。もつと公僕らしい養成を望む

（お答え）公僕としてサービスの精神をもつて市民の皆さまに応対するよう指導しています。不心得な職員がおるとしたら、具体的にお知らせ下さい。（総務課長）

消毒は各戸でやつて下さい

▼ゴミ運搬に来るのがおそくて、非衛生的ですから宜しくお願いします。

（お答え）現在市では、塵芥処理にトレーラーと三輪車の二台で大体月二回～三回の割合で各町内のゴミを処理しています。しかし、人員や車の都合で皆さんに御満足して頂くまでに至つてないのは残念なことです。しかしゴミの内容を考えてみますと、各御家庭で処理できるものも相当あるのではないでしようか。焼いたり埋めたりして、なるべくゴミの量を少くして頂ければ私共も非常に助かるし、町全体もそれだけきれいになると思います。七月から「清掃法」が実施されていることは七月の「市政だより」でお知らせしました。それにありましたように、各御家庭で処理できるゴミはなるべく処理して、お互いが協力して町を清潔にして行くことになつておりますから、宜しくお願いします。（厚生課長）

▼カ、ハエ等の駆除のため少くとも月一回は各家庭に薬をまきに巡つて下さい。

（お答え）混虫駆除のためには、四月二十日から衛生班（大館二、釈迦内一）を組織。市内各町内を月二回位の割合で薬をまきに巡つています。衛生班の仕事は、公共用の下水、公衆便所、塵芥捨場等となつており、一般の御家庭は各自消毒して頂かねばなりません。（現在では、できるだけ各御家庭の便所や流し口などの消毒をやつています）そこで薬を実費でおわけするときにはこれに申込んで、薬をまくようにして下さい。（厚生課長）

▼ゴミ取りの日時を予め通知して頂き、殺虫剤撒布を今少し回数を増してもらいたい。

（お答え）塵芥処理の日程は一応組んでいます。ただ雨天や春秋の清潔検査その他の突発事故のために日程が狂うこともあり詳しくはお知らせできません。大体二週間に一回巡回しています。殺虫剤の撒布は、財政のゆるすかぎり全力をあげてやつとおりますが、これ以上回数を増すとなると、現在の財政事情では無理ですができるだけ市民の御期待に添いよう努力いたしましよう。（厚生課長）

努力している合併問題

▼市外片山に居住するものでありますが、部落民一同大館市参加を希望しております故、大館市首脳者達の積極的な運動なり対策を講ぜられたくお願い致します

（お答え）片山部落から、大館市へ合併するという陳情書を頂いております。市の構想は一面の通りですが、市としては下川沿村と大館市との深い関係もあり、下川沿村との合併は当然行われるものと考え努力中であります。（石川助役）

▼大館市が附近町村との合併を行い、大大館市となるには市会及びその職に当る人々がもつと熱のある所を示して貰いたい。最近の会合では新聞記者を除いたとか、明朗性を欠いている。はつきりしたお話をして貰いたい。

（お答え）市当局及び議会側では合併について十分努力しております。六月二十五日、第一回の北秋北部市町村合併研究会を公開でやらなかつたというのは、当日会議は公開の予定で、新聞記者席を設けておりました。しかし、出席されたある村長さんからの御要望があり、公開しませんでした。その後の会議は公開しております。このような事情ですから御諒承下さい。（石川助役）

地主と交渉中の
仲町・部垂町間道路

▼南新道の舗装道路の西側は一段と低くなつているが自動車の通行量が多くて甚だ危険である。

（お答え）建設省で施行する舗装は、二車線（自動車がお互いにすれ違うことのできる巾）であり、六米～五・五米となつております。そこで国道や県道の舗装は御承知のような現状ですが市としては西側舗装について県に交渉中で近く実現できるでしよう。（土木課長）

▼方々の道路を直したり、新しい道路を通しておりますが、何十年来の懸案である。仲町～部垂町道路を一時も早く通して貰いたい。

（お答え）市としても、町時代からの問題でもありいろいろと努力を続けております。この工事を実施するには、先ず土地買収をしなければなりませんしかし地主（大館在住の人ではありません）との交渉が一頓座を来し現在この問題の打開に必死になつております。（土木課長）

▼東大館駅前の道路を一日も早く直して下さい。

（お答え）この道路は県道であり、県の管理が行き届かない面もあつて市が修理しています。砂利を撒いたりして良くなつてきている筈です。（土木課長）

入札は公正です

▼市全般の工事を市会議員だけが請負つておられるように思われますが、何故議員のみがやつておられるでしようか。今後は工事の入札を市内外にまで報知して入札を決定すべきであると思います。

（お答え）工事の性質、請負業者の質等も考慮に入れて、市としては公正にやつております。ただ土木請負業を営む議員が多いという点から、御投書のような考えの方もあろうかと思いますが、市としては決して妥協して入札を行つていません。

▼総ての点について釈迦内地区が「ママ子」あつかいの感があります。例えば、市の農業技術員が一回も見えない。ゴミ捨場がないため不衛生である。又防火の設備もなく火災に関する不安が大きい。一般の税金関係ではむしろ旧大館の財源とみられる。

（お答え）釈迦内地区をママ子扱いにしているというお考えは偏見ではないでしようか、市としては相当無理をしても釈迦内地区にはいろいろな仕事を行つています。衛生防火の面では、密集地帯から着々と施設の整備を行つていますから、近い将来には全般に及ぶことになりましよう。釈迦内地区は決して大館の財源でないことは今までの実績からみて明らかです。（総務課長）

農業技術員は日程を組んで各部落を巡廻しております。たゞ人員の関係で各戸をまわることはできません。技術員が巡廻する時は農業普及員の方に連絡をしてあります。また特に巡廻して欲しいとお考えの方は、電話なり口頭で農務課へお申し出になつて下さい。早速技術員をさし向けます。（農務課長）

▼市庁舎の立派なのと悪道路の改善、何れを選ぶかと云つたら、私共は後者を選びます。市民の福祉を第一に考えて頂きたい。

（お答え）道路の改修は着々と進めております。市庁舎は永久建築として目下建設中でありますが、これは昨年の火災後に計画したもので決して無駄な計画ではありません。むしろ市民のプラスになると確信しています。

技術員は日程表通り各部落の連絡員宅を集会場として巡回しています。指導を御希望の方は連絡員に申込んで下さい。

8月の農業技術員巡回日程

日程	午前九時より	午後一時三十分より
2日(月) 18日(水)	谷地町 南町	小館花
3日(火) 19日(木)	松木	沼館
4日(水) 20日(金)	御坂 常盤木	稲荷
5日(木) 23日(月)	釈迦内	本郷
6日(金) 24日(火)	大下 古川	通町 独鈷町
9日(月) 25日(水)	小釈迦内	板子石
10日(火) 26日(木)	川原町	田町 愛宕
11日(水) 27日(金)	長面	長面袋
12日(木) 30日(月)	松峰	商人留
13日(金) 31日(火)	柄沢	長根山

日程表以外でも御希望があればおまわりします。
農務課に連絡して下さい。

市民税は市政の原動力

▼昭和二十九年度の市民税は昨年の三・五倍も多くなりました。生活は苦しくなるばかりですから何とかならないのでしようか。

▼市民税はあまりに高い。

（お答え）市民税が一般に高いという御意見がこの外にもありました。市町村民税以外に大きな財源を持つている市町村に比較すると確かに高いことになります。しかし、同じような課税方法をとつている隣接町村や県内の各市では大同小異であり大館市より高い所もあります。また、若し地方税法が改正されなかつた場合、前年度の税率を改正しないで市民税を賦課したとすると、今年の税金は非常に高いものとなります。従つて今年の市民税は県民税を加えても尚昨年度の税金よりも安いということになりましよう。納税組合をつくつて、計画的に納税されるようお願いします（税務課長）

▼納税告知書の課税に関する説明をもつと平易に、誰にでも（特に市民に分り易い文章で、納得し得る様に

（お答え）[illegible]有難く拝見しました。所謂「お役所式」の文章でなくもつと皆さんに分りやすいように改めましよう（税務課長）

▼市税滞納処分は強制でやるな。市政は和でやれ。

▼滞納金はどしどし積極的にとり、正直者が馬鹿をみないように。このことは町内の話題になつています。

（お答え）このように二通りの御意見がありましたが市としては滞納額を早急に整理しなくては、市政運営のあらゆる面に支障を来します。税金が円滑に納まらないと、その間銀行その他から資金を借り入れなければならないことになります。借入金の利子がお互いの負担となります。このような点も考えて現在滞納整理を行つており、期限内に税金を納められる正直な方々に御迷惑をおかけしたくないと考えております。もし色々な事情で一ぺんにお納めできない方には分割払いの方法もありますので係迄おいで願つて御相談するようにして下さい。

将来は22米道路

▼㋑目抜き道路の拡張（駅前、御成町、田町、大町、鍛冶町、弁天町、大正町、長倉町、片町）をする考えはないか。

㋺子供達の遊園地を設ける考えはないか。

（お答え）㋑現在の道路の拡張は、財政上その他の関係で早急には実施できません。将来、御成町南側に巾員二十二米の都市計画道路を新設し、自動車の運行を主として交通の混雑を緩和したい考えです。

㋺[illegible]計画しておりま[illegible]に桂城小学校跡地を利用して早急に遊園地を実現したいと思つて準備を進めています。（土木課長）

▼新町を早く舗装して下さい。

（お答え）財政とにらみ合わせて考慮中です。（土木課長）

▼街灯が消えたら早速修理せられたい。

（お答え）街灯が消えたらすぐ市役所土木課へ申込んで下さい。尚、子供さんがいたずらして石を投げ電球をこわすというようなことのないようにお願いします。（土木課長）

農事メモ

天気予報

八月―気温は上旬前半は低目。上旬後半から中旬前半は高目の日が多く、中旬後半は低目になりましよう。下旬は概ね高目となり、月平均では平年並みか、やゝ低目となるかもしれません降水量は平年並みかやゝ多い見込みです。

九月――前半は気温の変動が大きく、高目の日も多いようですが、後半は気温も低目の日が多く、月平均ではやゝ低目となりましよう降水量はやゝ多い見込み。

冷害の赤信號
今後の管理が大切

―稲作について―

①穂孕期からの水の掛け引きは次の注意が大切

㋑籾の育つ間は水分が必要だから、深水として保護

㋺山間部では冷水掛け流しによる低温障害を軽くするため、午前十時から午後三時頃までは掛け流しを中止する。又地面がヒビ割れにならない程度に一時落水して地温を上昇[illegible]こと。

[illegible]がいつも発生する地帯は深水にして、七月中に稲に浸入した菌核の害をそれ以上にしない。

㋥イモチ病の発生田又は発生の心配がある出来すぎの因は乾さないで、常に水を堪えておくこと。

②畦畔の草はよく刈取つて田圃を清潔にしよう。田圃の通風、採光をよくし、病害虫の巣にしないこと。

③稗抜きは早めに行おう稗は開花授精後、短時間で繁殖するから開花前に抜き取つて処分しよう。

④イモチ病の完全防除

腐しよくの多い田、粘土質の田、又は冷水掛りの田は出穂前頃に窒素が過剰となり、稲の倒伏の原因や、穂首イモチにかゝりやすい。このような田は特に注意をしよう。

㋑毎年発生しやすい所では止葉が開く頃から出穂直前頃にセレサン石灰粉剤をまくこと。

㋺開花期にイモチが発生した田や穂首イモチの多く発生する恐れのある所では午前十時～午後三時迄の開花時間を避けてセレサン石灰を撒くこと。

㋩イモチ予防々除をくりか[illegible]施する場合は、六[illegible]倍量ボルドー液（展着剤加用）又は銅水銀製剤（展着剤加用）反当一石撒くこと。

⑤採種田は異品種の抜取りを行うこと。

⑥堆肥、厩肥の増産と管理と十分に行おう。

―畑作について―

①秋ソバの種子は七月下旬から八月上旬がその適期。遅れないように播くこと。

②白菜、大根の適期播種。結球白菜、秋田大根系は八月上旬まで、その他の大根は八月中旬までに播くこと。早過ぎると「ス入り現象」や萎縮病にかかりやすいから御注意。

③野菜類（大根、白菜、菜類）の発芽後の管理

㋑心喰虫……BHC粉剤

㋺アブラ虫……農用石鹸加用硫酸ニコチン八百倍液又は農用石鹸加用除虫菊乳剤八百倍液を撒く。

（アブラ虫は養分を吸うだけでなく、萎縮病をひろがらせ、収量に大きな影響を与える）

㋩黄筋ノミ虫……DDT乳剤〇・〇二%を坪当二合かBHC〇・粉五%剤を反当三キログラムを発芽二日後から一週間毎に。

㋥白菜、大根の間引はおくれぬように。

④玉ネギの適期播種

適期は八月十五日～二十日頃まで。石灰を多く与えること。

⑤菜種の適期播種

移植の場合は八月中、下旬、直播は八月下旬から九月上旬。